生命倫理公開講座開催のお知らせ

（ＡＭＥＤハンセン病啓発プログラム）

演題　感染症対策と人権

ーハンセン病隔離政策から見えてくるものー

講師　森 修一先生

（国立感染症研究所ハンセン病研究センター
感染制御部第７室長）

阿戸 学先生

（国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部長）

尾崎元昭先生

（元長島愛生園医師、日本ハンセン病学会理事）

川邊嘉光先生

（ハンセン病施設退所回復者）

森山一隆先生

（元奄美和光園自治会会長、ハンセン病友の会代表）

日時　２０１９年１０月１６日（水）
午後１時００分～午後４時２０分

場所　福島県立医科大学Ｎ３０１講義室

毎年公開講座として開催している生命倫理特別講義（医学部１年次学生）ですが、今年は「日本医療研究開発機構(ＡＭＥＤ)ハンセン病啓発プログラム」の一環として行われることになりました。感染症対策、保護対策の側面、諸外国の隔離政策、現場の医師としての経験、入所者・回復者の経験など多面的にハンセン病問題、隔離政策の実質を知っていただこうとの企画です。これからの医療、人権社会の形成にハンセン病隔離政策の教訓を役立てていただければ幸いです。

この公開講座は大学院共通必修科目の（４）に該当いたします。大学院生の方は履修票を御持参ください。

この公開講座は「日本医療研究開発機構(ＡＭＥＤ)ハンセン病啓発プログラム」の一環として行われます。

連絡先　医学部人間科学講座生命倫理学分野

内線２６０１（藤野）　mfujino@fmu.ac.jp

内線２６０２（末永）　suenaga@fmu.ac.jp

内線２６００（福田）　tfukuda@fmu.ac.jp